



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2 0 2 1 年 6 月 2 1 日

日本鉄道労働組合連合会

## 貨物鉄産労

# 2021年度夏季手当交渉妥結

基準内賃金の**1.77ヵ月分**

厳しい経営状況ながら前年を上回る月数を確保

貨物鉄産労は6月17日の団体交渉で、会社から「2021年度夏季手当については、基準内賃金の1.77ヵ月分を支給する」との回答を受けた。

回答を受けて貨物鉄産労は、「コロナ禍での景気低迷により、現時点での運輸収入が対計画▲20億円と厳しい状況にあることは理解するが、この難局を乗り越えるためには、これまで以上に労使が一体となって立ち向かうことが不可欠である」と主張。その上で、「貨物鉄産労はこの間、JR連合国会議員懇談会所属の国会議員やJR連合と連携して、国鉄清算事業団債務処理等処理法の一部改正法案に、JR貨物に対する支援の継続が反映されるよう、関係省庁や政党への要請行動を精力的に展開し、その結果、同法案に2023年度まで138億円の支援が盛り込まれた。JR連合だからこそ実現できたものと認識しており、JR貨物にとって貨物鉄産労をパートナーに選ぶことこそが将来にわたっての得策である」と述べ、会社の持続的発展にむけた政策活動に、引き続き、取り組む決意を表明した。そして、「会社からの回答は要求と乖離があり、到底納得できるものではない」としながらも、厳しい経営状況の中、昨年の夏季手当の支給月数を上回ったことを評価し、席上妥結した。